

株式会社 S A - G A

佐賀大学発ベンチャーでの取り組み

代表取締役

博士後期課程 3 年

森山 裕鷹

自己紹介



株式会社SA-GA
代表取締役 森山 裕鷹

- 2015年 4月 佐賀大学 工学部
知能情報システム学科
- 2018年 9月 株式会社SA-GA 設立
- 2021年 4月 博士後期課程 理工学研究科
数理・情報サイエンスコース
- 2023年 4月 (株)SA-GA代表取締役 & 博士後期課程3年

どんな人？

- ・ 佐賀大学で起業しました
- ・ ITエンジニア
- ・ 中学生の頃に始めたプログラミングが仕事になりました！

株式会社SA-GA

■佐賀大学発ベンチャー認定

「国立大学法人佐賀大学における佐賀大学発ベンチャーに係る称号授与及び支援に関する規程」に基づき、「佐賀大学発ベンチャー」として佐賀大学の認定を受けています。

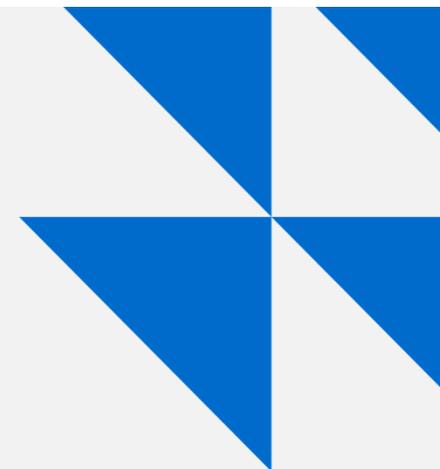
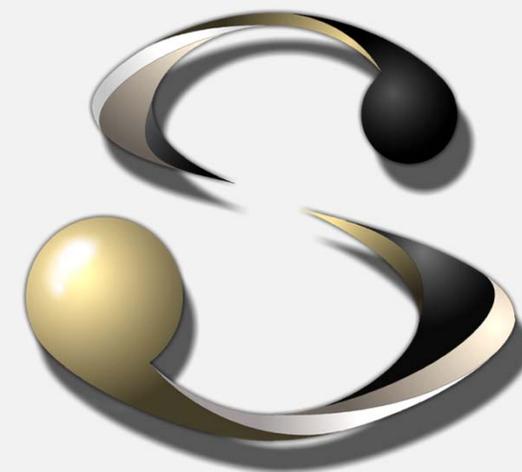
(参考：<https://www.suric.saga-u.ac.jp/sharen/venture.html>)

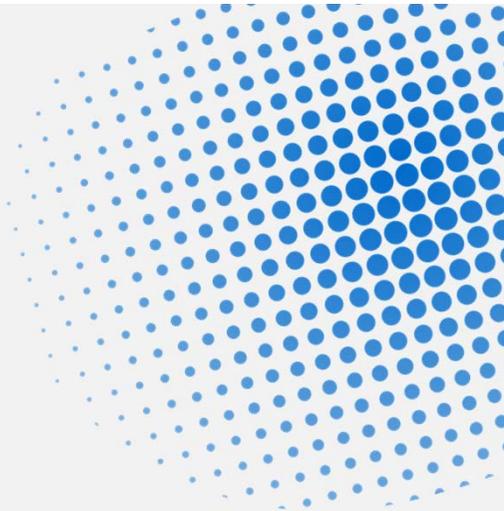
○佐賀大学での取り組み

- ・【実施中】施設利用料、ロッカー利用料決済
- ・次の取り組みに向けて準備中

○主要サービス：学校PAY[®]（商標登録済み）

- ・学校の事務負担軽減&保護者利便性向上
- ・唐津市／武雄市／吉野ヶ里町／有田町などで提供中



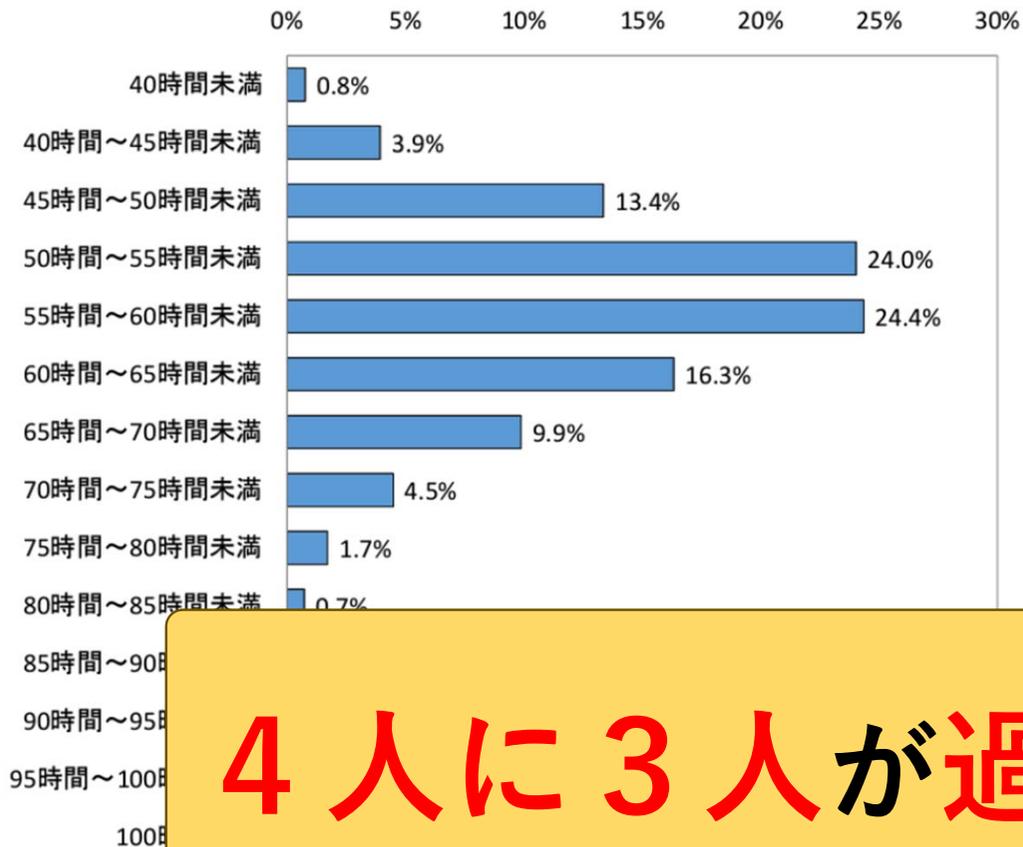


日本の先生、働きすぎで、
本来の業務が手薄になっている。

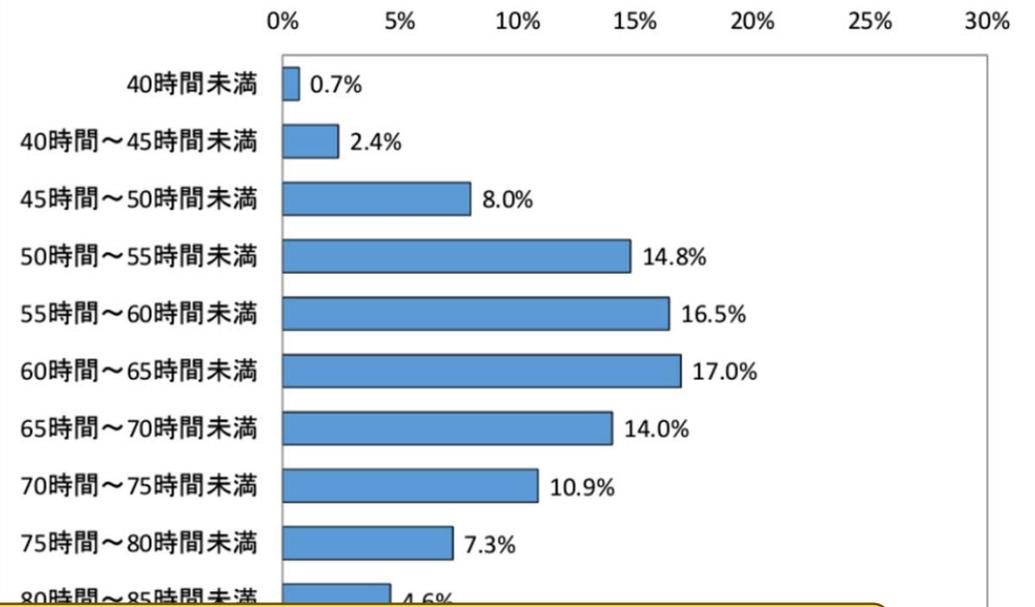


先生めっちゃめっちゃ働いています。

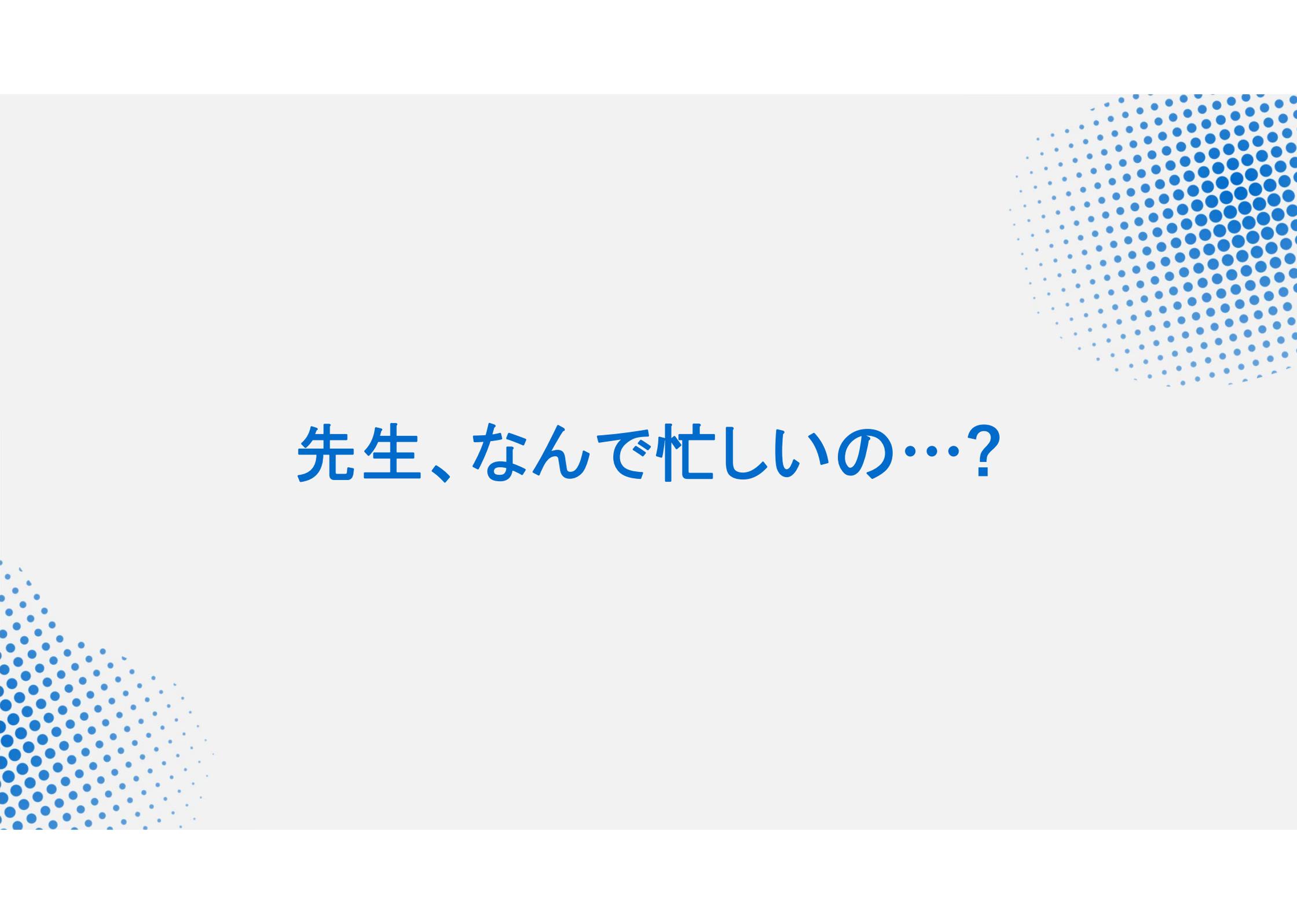
小学校・教諭



中学校・教諭



4人に3人が過労死ライン超え

The image features a light gray background with decorative blue dot patterns in the corners. The dots are arranged in a grid that tapers towards the edges, creating a halftone effect. The text is centered in the middle of the page.

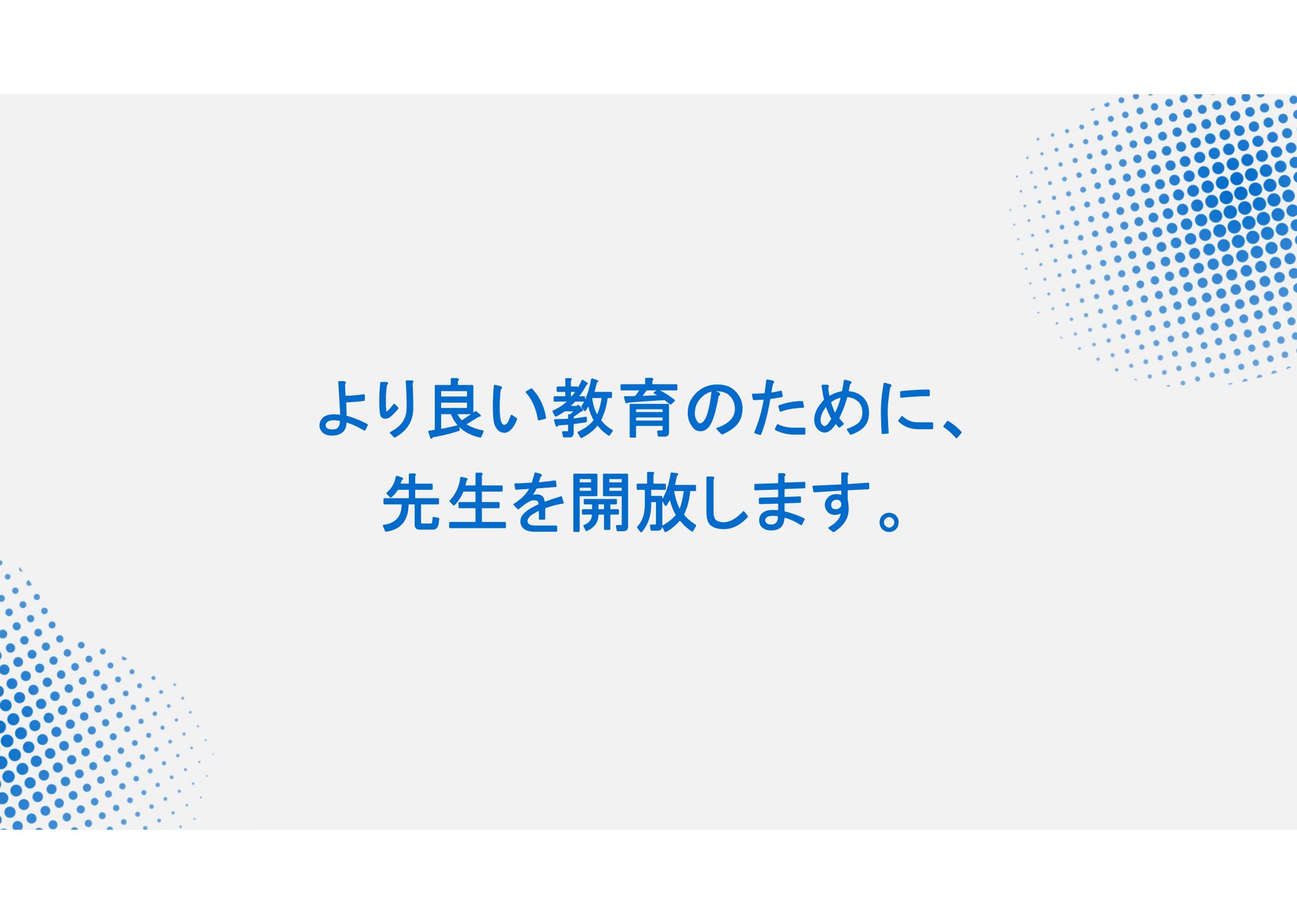
先生、なんで忙しいの…？

先生、なんで忙しいの…？

○ これまで学校・教師が担ってきた代表的な業務の在り方に関する考え方

<p>基本的には学校以外が担うべき業務</p>	<p>学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務</p>	<p>教師の業務だが、負担軽減が可能な業務</p>
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤部活動<small>(部活動指導員等)</small></p> <p>※ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑥職員業務</p> <p>(事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)</p>

学校以外が担うべき業務に、時間を使いすぎている。

The image features a light gray background with decorative blue dot patterns in the corners. The dots are arranged in a grid that tapers towards the edges, creating a sense of depth and movement. The text is centered in a bold, blue, sans-serif font.

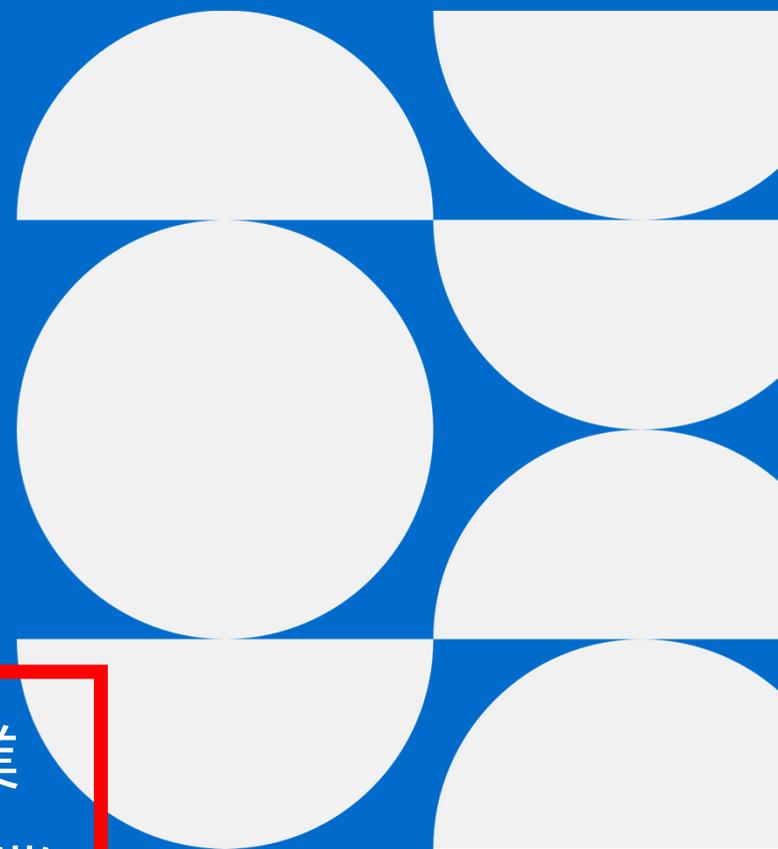
より良い教育のために、
先生を開放します。

学校徴収金収納サービス

学校PAY[®]

(商標登録済み)

佐賀県やわらかBiz (2019~) 採択事業
Startup Connect SAGA (2023) 採択事業



学校PAY[®]って何？

「学校」が「保護者」

から集めるお金 「学校徴収金」 を
スマートに集金するサービスです。

* 学校徴収金とは、従来、先生などが回収管理するもので、
例えば、給食費や教材費などが該当する。

学校P A Y[®]の導入効果

■ 事務量調査の結果（現金集金 ▶ 学校PAY）

【全体】

56.5%削減

• 16,736時間 ➡ 7,277時間

【集金業務】

76.6%削減

• 10,367時間 ➡ 2,429時間

集金業務は、全体の**61.9%**を占めており、特に事務負担が大きい。



近況報告



- ベトナムオフショア視察
- 新規導入先

Fin.



<https://sa-ga.jp>